

【株式会社ニチレイ】 食品ロス削減・リサイクルに向けた取組

<商慣習の見直し 賞味期限表示大括り化の取組み>

ニチレイウエルダイニングで製造する缶詰製品については賞味期限の大括り表示を予定しています。

<食品ロス削減・食品リサイクルの取組>

■ 専用サイト「ニチレイ食品ロス研究所」の開設

ニチレイグループでは、社会課題であるフードロス削減に向けて取り組むにあたり、食品ロスの原因を科学とサプライチェーンの両面からあらためて見つめ、どうしたら削減できるのか？また、ニチレイグループのコールドチェーン機能を使った削減方法についてご提案しています。

■ 主なフードロス削減活動

・フードバンクへの寄付・ハミダスもったいない活動（社員食堂）・こども食堂への支援

■ 専用サイト「ニチレイ食品ロス研究所」

本来食べられるはずなのに捨てられてしまう食品は、日本では、年間 612 万トンにのぼります。多くの食品は、腐敗・劣化しやすく、おいしく食べられる期間が短いことが食品ロスの大きな原因です。

①食べられなくなるの科学②サプライチェーンと食品ロス③コールドチェーンで食品ロスを減らす④ニチレイの取組み（調達・生産・流通・消費）と、食品ロスの原因を科学とサプライチェーンの視点からあらためて見つめ、どうすれば減らせるのかを皆様と共に考える研究所です。

■ フードバンクへの寄付

ニチレイフーズ・ニチレイロジグループでは2006年から15年間にわたり、セカンドハーベスト・ジャパン（認定NPO法人）の活動を支援しています。これまで、約2万ケース以上の冷凍食品を児童養護・母子支援・障がい者支援などの福祉施設に提供しています。また、商品提供だけではなく、安心して冷凍食品を食べていただくため、冷凍食品の物流サポートも行っています。

■ ハミダスもったいない活動（社員食堂）

ニチレイフーズでは、物流や流通において外装が潰れたりしているが食品としては何の問題もなく食べることができる商品について、独自の活動「ハミダスもったいない活動」を通じ社員食堂での試食会を開催しています。また、農林水産省が提唱しているフードロス削減運動「食べものに、もったいないを、もういちど。」にも賛同し、フードロス削減に向けた寄付活動や社内啓発活動に取り組んでいます。

■ こども食堂

ニチレイフーズでは、2021年より、全国の子ども食堂を支援している「認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ」のご協力をいただき、こども食堂への支援を始めました。

[関連ウェブページ]

■ ニチレイ食品ロス研究所

https://www.nichirei.co.jp/food_loss/

[お問い合わせ先]

株式会社ニチレイ サステナビリティ推進部（03-3248-2289）

